



NO. 111

# つじ隆一 市議員 議会活動報告

社民フォーラム市議団

(TEL 214-8717  
FAX 711-3453)

宮城野区版

〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東2-5-24 TEL 251-4064 FAX 253-2588

2021. 11. 1 発行 事務所 〒983-0031 仙台市宮城野区小鶴1-1-18-101 TEL・FAX 252-9511 E-mail : fureai@ililac.plala.or.jp

2期目のスタートの市議会では  
答弁する郡市長



「笑顔咲く杜の都」へ  
2期目の郡仙台市政が始動！  
令和3年第3回定例市議会開かる！

計33議案を審査

令和3年第3回定例市議会は9月9日開会、10月12日閉会の日程で開かれ、令和2年度の各会計決算、新型コロナウイルス関連の補正予算など計33件の議案審査が行われました。令和2年度の一般会計決算

では、コロナ禍における「特別定額給付金」や飲食店等の営業時間短縮に伴う協力金支給等で、歳入は約6638億円、歳出は約6540億円、対前年度比で約25%増加し東日本大震災時を上回る過去最大となりました。特別会計決算は約3025億円、企業会計は約1992億円で、一般・特別・企業会計の合計は約1兆1557億円で9年連続の1兆円超えとなりました。

### 法人市民税が大幅減少

歳入で特筆すべきは、市税収入において法人市民税が対前年度比で16・9%落ち込んだことです。これはコロナ禍の企業活動の低迷もあり

### 仙台市議会議事堂



社民フォーラム市議団の役職が変更になりました  
代表 石川建治  
副代表・政調会長 つじ隆一  
幹事長・会計 ひぐちのりこ

ますが、国による法人税税率の引き下げと地方税法を改正して法人市民税の一部を国税に移して法人事業税交付金としたことも影響しています。また、市債については対前年度比1・0%、48億円減少したことになっていますが、一方、臨時財政対策債は67億円増加し、市債の37%を占めていることも問題で、国に改善を求めていかなければなりません。

### ヤングケアラーの実態調査へ

新型コロナウイルス感染症対策費は一般会計の補正予算案3件と、7月から9月にかけて飲食店

### つじ議員の新しい所属等

- ◇都市整備建設委員会委員
- ◇文化芸術・スポーツ調査特別委員会委員長

令和3年第4回定例議会  
12/2～17  
(11/25～26 臨時議会)

等の営業時間短縮に伴う協力金等を市長が専決処分した4件が議案として上程されました(詳細は別途掲載)。また、補正予算案では今年度の仙台ふるさと応援寄附推進事業費(ふるさと納税)が6億7200万円見込まれることから、返礼品等経費を除いた分を財政調整基金・復興基金・福祉基金に積立する件、東北大学と連携したスーパーシティ構想経費、ヤングケアラー実態調査経費、インターナショナルスクール等に通う満3歳児以上の保護者負担軽減のための経費、保育所における1歳児受け入れ推進事業費、「ループル仙台」の車輛更新経費、令和元年台風関連の被災宅地復旧事業費の追加、2月の地

### 《第3回定例市議会で可決された 新型コロナ対策補正予算等》

◆一般会計補正予算（コロナ関連分）	16億800万円 (単位は千円)
○文化芸術公演開催支援補助金の追加	112,500
○生活困窮者自立支援事業費の追加	50,617
○感染症患者移送費の追加	94,419
○保険適用PCR検査等自己負担分給付費	334,271
○感染症入院患者医療費負担診療報酬の追加	266,547
○自宅療養者生活支援事業費の追加	4,312
○宿泊療養施設運営経費の追加	174,416
○ドライブスルー検査場運営経費の追加	398,625
○中小企業チャレンジ補助金の追加	89,756
○修学旅行取消手数料保護者負担軽減費	16,038
○小中高等感染症対策経費の追加	66,200
◆追加補正予算（9/13～9/30分）	64億5,700万円
○感染症拡大防止協力金事業費	5,816,100
○時短要請等関連事業者支援金事業費	640,450
◆追加補正予算	2億6,200万円
○時短要請等関連事業者支援金事業費 (8～9月の前・前々年度比売上げ減少対応)	
◆承認された専決処分による補正予算	計151億1,200万円
○感染症拡大防止協力金（7/21～8/17分）	58億2,200万円
○ //（宮城県・仙台市緊急事態宣言期間） (8/17～8/19分)	6億3,800万円
○ //（まん延防止等重点措置期間） (8/20～8/26分)	22億2,600万円
○ //（非常事態宣言期間）(8/27～9/12)	64億2,600万円



新型コロナウイルス感染症対策において、医療崩壊を防ぐために

臨時医療施設等による医療提供体制の強化を求めたことに對しては、「宿泊療養施設で医療スタッフが24時間常駐し、酸素濃縮器の配備など一定の提供体制を整えている。感染状況に応じて宿泊療養施設の医療的機能の拡充など、必要な体制を確保する」と答弁しました。

また、ガス事業民営化に係る「優先交渉権者なし」との判断は妥当で、民営化によるサービス向上の具体性を示せなかったことが問題ではないかと質したのに対して、「民営化の推進にあたり、利用者の理解を得ながら進めることは重要であり、今後とも時宜を捉えながら必要な説明を丁寧に行っていく」との答弁にとどまりました。

その他、市債残高と今後の財政見直し、社会福祉法改正の課題と対応、ワクチン接種手帳交付の検討、家庭内感染の拡大防止策、学校における感染症対策、スパーシティ構想と個人情報保護問題、などを取り上げました。

震関連の高齢者施設災害復旧費の追加の計15億9000万円が計上されました。

更に、民営化に伴う中田保育所の廃止に関する条例改正案、青葉区役所、博物館の規模改修工事及び松森工場の設備改良工事に関する工事請負契約に関する件等も上程されました。

人事案件では、教育委員、農業委員の任命、人権擁護委員の推薦の3件が提案されました。

【採択された意見書】

- ◇「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める件」
- ◇「ヤングケアラーに対する支援の充実を求める件」
- ◇「学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションの適切な推進を求める件」
- ◇「中国政府に対し人権侵害等への懸念について説明責任を果たすよう要求することを求める件」

○「北朝鮮による新型弾道ミサイル発射に対する抗議に関する件」

つじ議員は9月16日に代表質疑を行いました。

まず、郡市長の2期目の政治姿勢について質しました。

「子どもの権利条例」については「常に子どもの権利を尊重し、子どもの利益を第一に考えることを肝に銘じていく」と答え、「新健康都市宣言」

○「市内病院を含む病院再編に関する宮城県等による協議に関する件」

つじ議員が本会議で代表質疑

については、「改めての宣言は考えていないが『まちの中心は人である』という私の一貫した思いと方向性を一にするものである」と答えました。

市民協働のあり方を質したところについては、「まちづくりに対する関心をお持ち頂くこと、気軽に参加、活動できる機会が様々なところにあることが肝要だと考えている」などと答弁しました。

新型コロナウイルス感染症対策において、医療崩壊を防ぐために

# 市政運営・令和4年度予算に関する要望書等を提出

10月12日の第3回定例会の最終日、市民フォーラム市議団は「市政運営及び令和4年度予算要望」「新型コロナ感染症対策」「米価下落に関する国及び県への緊急要望の要請」を提出しました。市政運営に関しては18件、コロナ対策は6件23項目、米価関連は4件、予算要望は全市58件、各区66件の計152件となりました。

- ・特別支援学校の市内増設
- ・みやぎ発展税・環境税の市内活用
- ・4病院の連携・統合の中止

### ◆平和行政の推進

- ・「非核平和都市」宣言
- ・平和行政・平和教育の推進

### 【新型コロナ感染症対策】

- ・PCR・抗原検査等の拡充
- ・ワクチン接種体制の強化
- ・医療提供体制の拡充
- ・経営困難事業者への支援
- ・雇用対策の拡充について
- ・市民生活への適切な対応
- ・公共交通への支援について

### 【生産者米価下落に伴う緊急要望の要請】

- ・消費減等に伴う「在庫米」
- ・収入減の農業者へ支援策
- ・米農業再生産に向け、肥料、農薬等に対する助成制度



の処理を国に求めること  
県産過剰米を生活困窮者等への現物配付

## 〈主な平成4年度予算要望―抜粋―〉

### ○子ども・若者の未来の応援

- ・切れ目のない子育て支援策
- ・子どもの貧困への支援策
- ・児童虐待の根絶対策
- ・児童相談所の機能強化
- ・ヤングケアラー対策
- ・保育所待機児童の解消
- ・病児・病後児保育の拡充
- ・児童クラブ人数増への対応
- ・人権教育とイじめ根絶及び不登校対策の強化
- ・公設の夜間中学設置
- ・全学年の35人以下学級

### ○市民の安心できる暮らし

- ・教職員の負担軽減策
- ・インクルーシブ教育の推進
- ・老朽化した学校施設の改善
- ・学校納付金の負担軽減策
- ・介護サービス供給体制充実
- ・グループホームの拡充
- ・放課後デイサービスの拡充
- ・アーチルの増設、機能強化
- ・と中心部・東部への整備
- ・世代間交流への支援策
- ・市民C等の老朽化対策

### ○市民協働のまちづくり

## 宮城野区の要望事項

- 燕沢児童館のサテライトの近隣への移設も含めた対策
- 坂下交差点の交通渋滞対策。とくに、ガス局方面からの右折対策について、国道45号線の自転車走行帯のあり様も含めた対策
- ガス局前交差点の左折ラインの新設など北行き交通渋滞の解消策
- 与兵衛沼周辺の青葉区小松島新堤を含めた一体的な自然を生かした環境整備。散策路にベンチを設置
- 岩切2丁目13～14地区の用水路の越水対策の強化
- 利府街道より黒門跨線橋への右折対策など交差点のあり様の検討。黒門跨線橋から新田東地区に至る市道の拡幅
- 鶴ヶ谷東2丁目1号線～市道東葛蒲沢幹線の早急な整備
- 市道燕沢小鶴線（利府街道～市バス東仙台営業所）の騒音対策など道路改良及び歩道整備を図ること
- 通学道路である市道吉ヶ沢五郎兵衛線の側溝整備
- 防災上の観点から燕沢東3丁目7～25地区内の市道を設置
- 市道岩切鶴ヶ谷1号線（つばめ保育園前等）の排水対策
- 鶴ヶ谷中央地区の地域活性化の拠点としての再整備
- 新田小学校北側の小鶴公園の植栽木の剪定、周辺道路の補修
- 新田2丁目4丁目間の五叉路の改善による交通安全対策

- ・男女平等施策の啓発と推進
- ・DV根絶・性暴力防止対策
- ・性的少数者の差別解消
- ・男性の育児休業の取得促進
- 元気な地域経済と都市のブランド力
- ・中小企業・起業家支援と地域雇用の創出拡大
- ・商店街の担い手育成
- ・耕作放棄地の解消
- ・仙台ブランド野菜の育成
- ・有害鳥獣に市独自の対策
- ・地元木材活用の推進
- ・多言語標記などサイン整備
- ・作並地区の観光振興策推進
- ・文化芸術基本計画策定
- ・音楽ホールの着実な整備
- 魅力ある防災環境都市
- ・高速バスの発着場の集約化
- ・荷さばきスペースの確保
- ・バス路線の維持と市バスの定時運行を促進策
- ・地域交通の支援策の拡充
- ・脱炭素社会実現
- ・市施設へのクリーン電力
- ・建築物の環境配慮型再整備
- ・食品ロス対策の推進
- ・震災メモリアル施設の整備
- ・ハザードマップの活用
- ・地域の防災力向上策
- ・指定避難所等で複合災害に適応できる備蓄の促進

# つじ隆一の活動日誌

- 7. 7 子育て環境充実調査特別委員会
- 7. 9 「共に市政をつく会」との打合せ
- 7.10 「郡和子を支援する有志の会」会議
- 7.14 宮城野区護憲平和センター市民自主大学
- 7.18 仙台市長選告示
- 7.19 市議会災害対策会議
- 7.21 都市整備建設委員会
- 7.23 県議会議員宮城野区補欠選挙告示
- 7.26 宮城医労連との協議
- 7.28 燕沢地域ネットワーク会議
- 8. 1 仙台市長選投票開票日
- 8. 2 第3回燕沢乗合タクシー運営協議会
- 8. 3 反核平和の火リレー出発式
- 8. 6 都市整備建設委員会
- 8. 9 市職労執行委員会
- 8.15 戦争を阻止する母親の平和行進
- 8.18 市議会災害対策会議
- 8.20 スポーツ市議の会「マイナビレディス」激励会、都市整備建設委員会
- 8.26 市議会災害対策会議
- 8.28 ソキウスせんだい理事会
- 8.30 市議会議長懇談会
- 9. 1 第3回定例市議会議案説明
- 9. 4 鹿児島県人七士の墓墓参
- 9. 8 議員協議会（ガス民営化問題説明）
- 9. 9 第3回定例市議会開会
- 9.15 本会議（～22日）
- 9.16 本会議で代表質疑
- 9.24 都市整備建設委員会
- 9.26 社民党市議団政策・22年度予算要望検討会
- 9.27 決算等審査特別委員会（～10/8）
- 10. 4 第4回燕沢乗合タクシー運営協議会
- 10.12 第3回定例市議会閉会、市政及び令和4年度予算、コロナ対策、米価対策要望提出
- 10.14 宮城県知事選告示
- 10.19 衆議院選挙公示
- 10.21 都市整備建設委員会
- 10.22 宮城野区護憲平和センター市民自主大学
- 10.25 地域防災運営協議会
- 10.27 鶴ヶ谷団地再生委員会（Next50）
- 10.28 文化芸術・スポーツ調査特別委員会
- 10.30 全国護憲大会（宮城 ～31日）
- 10.31 衆議院選・県知事選投票開票日



4月から本格運行を実施している燕沢地区の地域交通』の

## 『のりあい・つばめ』

本格運行、後期に期待

のりあい・つばめ』は、4月から9月までの前期の乗車平均は1日約31人とコロナ禍の影響もあり目標に少し届きませんでした。9月には36人超で、盛り返した運行となっております。9月に燕沢地区社協として高齢者サロン等での利用促進協議などに取り組み予定でしたが、感染症拡大によりできずでしたが、11月以降再開してまいります。

## 仙台市で全国護憲大会を開催！

10月30～31日、「大震災から10年！防衛よりの防災！共に生きる確実な明日へ」をメインテーマに憲法理念の実現をめざす第58回大会（全国護憲大会）が仙台市国際センターを会場（オンラインでも中継）で開催されました。その準備を進めるために今



年の2月には宮城県護憲平和センターを中心に実行委員会が設立されました。そしてコロナ禍ではありましたが、7月から「原発再稼

働問題」や「水道の民営化問題」などをテーマに、毎月、県内の各地区護憲平和センター主催で学習会を兼ねた市民自主大学を開催してきました。10月22日には宮城野区中央市民センターで、「憲法と人権」をテーマに宮城野区護憲平和センター（つじ議員はその共同代表）主催の市民自主大学が開催されました。

### 仙台市社会福祉協議会から感謝状

2001年に設立されて以来、燕沢地区社会福祉協議会の会長として20年地域福祉に関わってきましたが、9月1日の仙台市社会福祉大会（コロナ禍で中止）で表彰を受けました。



### 表彰状

辻 隆一 様

あなたは地区社会福祉協議会長として二十年以上にわたり地区福祉の育成強化と会員増強に尽力され地域福祉の向上発展に寄与されましたその功績はまさに多大でありますよ。仙台市社会福祉大会にあたり記念品を贈り表彰します  
令和三年九月一日  
仙台市社会福祉協議会  
会長 山浦正井